

セントポール市を訪問して

(長崎市・セントポール市姉妹都市提携60周年記念訪問団)

板坂 博之

この度、長崎市・セントポール市姉妹都市提携60周年記念訪問団としてアメリカ合衆国ミネソタ州の東部に位置するセントポール市を訪問した。

セントポール市と長崎市は、戦後10年目の昭和30年、日本で初めてとなる姉妹都市提携を行い、今年で60年という節目の年を迎えた。

今回は、その記念行事の一環としてセントポール市を訪問した。

訪問には、毎熊市議会議長はじめ、市議会から議員5名とともに、市長、長崎商工会議所会頭や副会頭、長崎市内の中学生なども同行した。

セントポール市に到着後、まず第50代セントポール市長 ジェームズ シャイベル氏への国際親善平和栄誉賞式が執り行われた。氏は、平和公園のモニュメント「地球星座」の設置に尽力されるとともに、旅博覧会が行われた長崎にアメリカ合衆国の代表として訪問するなど、長崎市とセントポール市の友好関係の発展に多大なるご尽力をいただいた。この思いが後世に引き継がれることを期待したい。

セントポール市の訪問に際しては、クリス・コールマン市長やジョアン・ブラッチリー姉妹都市委員会委員長をはじめ、多くのセントポール市民の皆様から大変なご歓待をいただいた。公式行事としてピースパイプセレモニーや姉妹都市交流貢献者顕彰式典、松田正美記念碑の除幕式、コモ公園での日本祭などを開催いただくとともに、盛大に行われた歓迎夕食会や昼食会にもご招待いただいた。また広島・長崎原爆展も共催いただき、オープニングセレモニーでは、立ち見客が出るほど多くの参加者が集まり、展示を見る皆さんの真剣なまなざしが非常に印象的だった。

これらの行事の中でもっとも驚いたのは、コモ公園での日本祭である。公園入口には、開園から終了時間まで長蛇の列が続き、ステージにおいては日本の文化である太鼓や舞踊が披露されると多くの皆様がステージ前に集まられた。最後に、もってこいのコールを同僚議員二人が行ったところ、会場の盛り上がりは最高潮となった。セントポールの皆様の日本の文化に対する関心の高さに非常に感銘を受けた。

また、松田正美氏記念碑除幕式では、日本庭園の造成などにご尽力された松田正美氏への感謝の思いが非常に強いことがうかがえた。除幕に同席した松田氏のご子息の感慨もひとしおであったと思う。

今回の訪問で、60年という長い期間で培ってきた友好関係の強さに大変感銘を受けるとともに、世界恒久平和の実現のためにもこの関係を末永く続けていくことが大切だと強く感じた。